

鍋横かわら版

発行：鍋横区民活動センター運営委員会

〒164-0012 中野区本町5-47-13

TEL：03-3383-2733 FAX：03-3383-2734

メール：nakano_nabeyoko@chic.ocn.ne.jp

HP：http://www.nakano-nabeyoko.gr.jp



わくわく大作戦ってなあに？

- 鍋横地域の町会や学校、PTA、育成団体が一体となって取り組む年に一度のイベントです。
- 子どもたちは、友達と協力してダンボールハウスを作り、一晩寝食を共にし、楽しめます。
- 地域の大人たちとしては、ここに防災の取り組みを加え、子どもたちにも防災意識を育むことを目的としています。

「わくわく大作戦」鍋横地域で20年以上続く、地域をあげての夏の一大行事です。今年、コロナ禍で3年間中止になっていた「わくわく大作戦」が再開されます。

第24回わくわく大作戦

日時：7/16(日)午後3時

～7/17(月・祝)午前7時まで

会場：中野本郷小学校

ダンボールで友だちと家を作って泊まるのがわくわく！楽しい！



防災窯で作る夕食は恒例のけんちんうどん 200人分です



会場は？

中野本郷小学校の校庭です。光化学スモッグのため体育館で行ったこともあります。本郷小学校が使えないときに第二中学校の体育館で行ったこともあります。

テーマは思いやり・助け愛

特集

わくわく大作戦



わくわく大作戦の歴史、そして今！

*始まりは

1997年、中野区教育委員会と青少年育成鍋横地区委員会の共催でスタート。ダンボールハウスを作って校庭に宿泊、ローワークや防災の話等、1995年の阪神淡路大震災を受けて、地域の防災意識を高める取り組みでした。そこに子どもたちがワクワクするお楽しみタイムを加えて『本町なべ屋敷』や『闇夜の音楽会』を行いました。

*夕食は二斗釜で炊き出しを

最初は炊飯袋をお湯に入れて炊いたご飯と鍋横鍋（高野豆腐入りの豚汁）、豚汁の具材の野菜を各自で切って持ち寄っていました。カレーの時もありましたが、後片付けも簡単な流水麺を使った『けんちんうどん』に定着しました。2019年まで本郷小PTAの皆さんが担当していましたが、今年から町会の回り持ちになり、今年宮里町会です。

*自分でつくる・みんなでつくる・地域の防災

いざ災害が起こって電気がガス水道も使えなくなったら・・・暗闇の中で何ができるだろう？自分で考えて、仲間と協力して、自分たちの手で作りだす体験が『わくわく大作戦』です。

*今年の講師は北ちゃん(北見靖直さん)

久しぶりの開催なので、過去7回(2001～2006)講師としてかかわった北見さんに講師をお願いしました。大人の研修会も3月に開催し、今年のわくわく大作戦にあたり大切にしたいことや大人の協力を確認しました。「子どもたちの笑顔」「子どもの力」「思いづくり」「自分でつくる」「交流」「大人も楽しむ」「大人の本気」を大切に実行しましょう！

今年、「令和5年度東京都地域の底力発展事業助成」対象事業として実施します。

協力団体：鍋横地区町会連合会(千代田・宮里・西町・鍋横・新中野・本六)/鍋横区民活動センター運営委員会/青少年育成鍋横地区委員会/中野本郷小学校PTA/第二中学校PTA/宮の台児童館/中野本郷小学校/第二中学校/中野区/赤十字奉仕団鍋横分団/東京土建組合中野支部/中野ゆうなと/コブみらい第4ブロック委員会

*わくわくタイム

夕食後は『わくわくタイム』です。今年本郷小の竹を使った『闇夜の音楽会』や『棒パン焼き』『屋上で夜景をみる』を予定しています。元本郷小の先生や宮の台児童館の職員の皆さん、二中生のボランティアも協力します。かつては、伝承遊び、ランタン作り、肝試し、わくわくシティ(こどものまち)、和太鼓と盆踊り・・・などもありました。

*今までの参加人数は最高534人(2007年)

この人数の安全を保証して管理するのは難しい、ということで翌年からは参加条件を厳しくして人数を絞って実施。



わくわく大作戦ホームページはこちらをご覧ください